

## 競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は2026年日本陸上競技連盟規則と本大会申し合わせ事項によって行い、大阪総体(中央大会)出場者の決定は、大阪高体連陸上競技専門部ホームページに掲載の第81回大阪高等学校総合体育大会陸上競技の部の要項記載通りに行う。

(1)競技用シューズについて審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。競技用靴規定に違反して競技を行った場合は失格とする。

種 目	ソールの 最大厚さ	その他の要件/注意
トラック種目(競歩を除く) フィールド種目(サークルから行われる 投てき種目を除く)	スパイクシューズまたはノン・スパイクシューズ 20mm	すべての跳躍種目では、前足部中央のソールは、踵中央のソールより高くなってはならない。(競技用靴に関する規程 8.3 項および 8.4 項参照 :シューズ内部の長さの 12%と 75%の位置)
競歩種目(トラック、道路)	40mm	

(TR5.2)

(2)競技エリア内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信機器や録画再生機器等を持ち込んではいけない。

### 2. 招集(コール)について

(1) 招集時間(競技開始時刻前の下記時刻で行う。この時間帯に招集を完了できなかった場合は出場できない。)

	トラック	跳 躍	投てき	棒高跳
開始時刻	30分前	50分前	60分前	80分前
完了時刻	20分前	40分前	50分前	70分前

(2) 競技者は招集開始時刻までに招集所内で待機し、競技服装(アスリートビブス・トラック競技では腰ナンバーカードを付けている状態)になり、競技で使用するシューズのチェックを受ける。

整列点呼後、招集所から各競技場所へは、競技者係の誘導によって、まとまって移動する。

(3) 招集に遅れた競技者は欠場したものととして処理する。

(4) 欠場する場合は、欠場届を招集開始時刻までに招集所の競技者係へ必ず提出すること。

(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する。)

(5) 招集の代理は認めない。ただし、招集時間帯に競技が行われる可能性がある場合には、**第一種目の招集完了時刻までに「多項目同時出場届」**を招集所へ提出すること。なお、第1種目は招集を受けなければならない。また、ラウンド進出により招集時間帯に競技が行われる可能性が発生した場合には、すみやかに多項目同時出場届を招集所へ提出すること。

代理をたてる必要はない。(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する。)

(6) リレー競技について

①オーダー用紙は、**第1組の招集完了時刻の1時間前までに**招集所に提出すること。

(用紙はHPにあるものをダウンロードして利用する。)

②招集完了時刻前であっても、一度提出したオーダー用紙の変更・差し替えは認められない。

③一度オーダー用紙を提出した後の変更は、招集完了時刻までに総務に申し出たうえで、大会本部が任命した医務員の判断がない限り認められない。医務員の判断による変更は、出場選手の変更のみ認められ、走順の変更は認められない。

④オーダーメンバー全員が招集開始時刻には招集所内に待機し、点呼を受けること。多項目に出場していて、多項目同時出場届の提出が完了している場合は、代理の必要はない。

(7) 招集所から現地(スタートライン・跳躍ピット・投擲ピット)に行く場合、競技者係の指示に従うこと。

### 3. アスリートビブス 必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。

トラック種目では腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に**安全ピン**で付けること。なお、腰ナンバーカードおよび安全ピンは各校で用意すること。ただし、800m以上の種目と4×400mの腰ナンバーカードは主催者で準備する。(1番～8番を含む)

### 4. 運営方法について

(1) トラック種目はすべてタイムレースとする。レーン配置は、セパレートレーンでスタートする競技はシードレーンをおく。その他は記録順にインレーンからならべる。

フィールド種目のトップ8は行わない。

(2) 800mは原則として1レーン2名でスタートし、120mでオープンとする。

- (3) 競技運営上、ラスト1周で3000mSCは13分00秒を超える選手、競歩で22分00秒を超える選手は、トラック審判長が競技を打ち切る。
- (4) バーの上げ方 走高跳 男子1・2年とも 1.50-1.55-1.60-1.65-1.70-1.75-1.80 以降3cmずつ  
女子1・2年とも 1.20-1.25-1.30-1.35-1.40-1.45-1.50 以降3cmずつ  
棒高跳 男子1・2年とも 2.62-2.82-3.02-3.22-3.42-3.62 以降10cmずつ  
女子1・2年とも 2.02 以降10cmずつ  
※走高跳・棒高跳ともに練習の高さは当日現地で決定する。
- (5) 走幅跳・三段跳におけるカットラインは当日に跳躍審判長と主任で決定する。
- (6) 投てき競技はすべてフィールド内で行う。いずれの種目の投てき練習も競技場所に入ってから審判員の指示に従って行うこと。これ以外の投てき練習は禁止する。
- (7) 各自が持参した投てき用やりは検定を受けて使用する。(競技開始90分前から60分前までに器具庫前に持参すること。)

(8) フィールド競技の試技制限時間  
単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上※	30秒	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技は1分とする(走高跳は30秒)。

※※残っている競技者数が2名以上の時に適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。

5. 抗議について

抗議は日本陸上競技連盟競技規則により、当該校顧問から、総務員に口頭で申告し、総務員が審判長に取り次ぐ。

6. 表彰 各種目6位まで賞状がある。  
リレーの賞状は1校5枚とする。

7. 補助役員 7月12日 7:50集合 11日・18日～20日 15:00集合 (メインスタンド下、室内練習場)  
清掃については、**補助役員割り当て**を見て、確認しておくこと。

8. 競技場への入場について

入場は学校関係者のみとし、各校の顧問は入場者の把握を行ってください。

9. その他

(1) 競技会開始前及び競技中のトラックでの練習については、次のレーン区分を守り、周囲の動きに十分注意して行うこと。

ただし競技会準備を優先し、マーシャルの指示に従い、練習は競技開始30分前までとする。競技開始以降、万博競技場においては室内練習場でのウォーミングアップ等をしてよい。ただし、招集所審判員の指示を聞くこと。

【1日目 7月11日】※跳躍練習(棒高・三段)は、各ピットの現地競技役員の指示で行ってもよい。

長距離用周回練習：1・2・3レーン \*ジョグはレーン外

直線での短距離練習：4～9レーン

【2日目 7月12日】※跳躍練習(幅・棒高)は、各ピットの現地競技役員の指示で行ってもよい。

長距離用周回練習：1・2・3レーン \*ジョグはレーン外

直線での短距離練習：ホー

ムストレート4～9レーン

バトン練習：バックストレート側4～9レーン

(練習後に必ず、マーカー(テープ)をはがすこと。 \*バトン練習は女子のみ)

【3日目 7月18日】※跳躍練習(高・幅)は、各ピットの現地競技役員の指示で行ってもよい。

長距離用周回練習：1・2レーン \*ジョグはレーン外

直線での短距離練習：ホームストレート3～8レーン

コーナーからのスプリント練習は3・4レーン(第2コーナーからバックストレート)

バトン練習：バックストレート側5～8レーン

(練習後に必ず、マーカー(テープ)をはがすこと。 \*バトン練習は男子のみ)

【4日目 7月19日】※跳躍練習（高・幅）は、各ピットの現地競技役員の指示で行ってもよい。

長距離用周回練習：1・2レーン \*ジョグはレーン外

直線での短距離練習：ホームストレート6～8レーン

コーナーからのスプリント練習：ホームストレート3～5レーン

400mHの練習：女子は4・5レーン 男子は6～8レーン

【5日目 7月20日】※跳躍練習（三段）は、各ピットの現地競技役員の指示で行ってもよい。

長距離用周回練習：1・2レーン \*ジョグはレーン外

ハードル練習：100mYHは5・6レーン、110mJHは7・8レーンとする。

短距離練習はホームストレート3・4レーン、バックストレート3～8レーン

水壕の練習は可。

練習では余裕をもって長めに走り、戻りには十分に安全確認をすること。

※万博競技場のサブグラウンドは使用できない。

- (2) 競技者としてのマナーを守る。本部前は生徒の通行は原則禁止。ゴール後は本部前を通らないこと。  
また、トラック周囲を通行することは競技の妨げになるので、スタンド通路を通行すること。
- (3) 競技エリア内にビデオ装置、携帯電話、スマートフォン、タブレット等の電子通信機器等を持ち込むことはできない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像をコーチ席以外の場所からの提示のより見ることは認めない。メインスタンド前ピットで行われる走幅跳・三段跳では、録画再生機器等をメインスタンドの指定されたエリアから大会本部が用意した吊り下げ紐付き袋を使用した場合のみ、それ以外の場所での跳躍競技および投擲競技では、コーチ席前の指定されたエリアの中で、録画映像を提供する者から受け渡しが可能であれば、競技者は撮影した人とコミュニケーションを取りながら録画再生機器等を手にしてもよい。ただし通信通話機器機能の使用は競技規則により禁止である。
- (4) 危険防止・安全確保のため、折りたたみいす、大型のクーラーボックスなどの競技に支障をきたすものを競技エリア内に持ち込まないこと。なお、競技開始前の練習時は日傘の使用を禁止する。
- (5) フィールド芝生内への立ち入りは競技役員、補助員のみとする。
- (6) メインスタンドには部旗等を掲げない。テントはメインスタンドおよびバックスタンド中段通路より上で、屋根のない所に設置する。
- (7) 貴重品・私物の管理は各校で責任をもつこと。盗難には十分に注意すること。
- (8) ケガ人が出た場合、本部で応急手当は行いますが、その後は各校顧問で処置してください。
- (9) ゴミはすべて持ち帰ること。
- (10) 駐輪禁止：点字ブロック周辺・正面階段前には自転車を止めないこと。HPを見て確認しておくこと。
- (11) 本大会の結果については、上位大会進出に関わるものを除き、掲示は行わない。なお、今大会は電光掲示板を使用しないため、結果通達のアナウンスを正式発表とする。  
大阪高体連陸上競技専門部 webpage に随時アップデートするため、各自確認すること。
- (12) 撮影はスマートフォン・タブレットに限る。
- (13) 開門抽選の時間は次の通りですべて1階エントランスにて行う。  
7/11(土) 16:45～17:00 7/12(日)9:00～9:15 7/18(土)19(日)16:45～17:00
- (14) 8/17(月)中央大会1日目の開門抽選は20日(月)16:45～17:00の間に1階エントランスで行う。
- (15) 7月11日(土)⇒100mスタート付近スタンド下、18日(土)19日(日)⇒室内練習場、は指定された時刻に各学校の荷物を留め置くことができる(学校名がわかるように)。ただし、翌日の開門抽選時に使用する場所取り用のシート等は持ち帰ること。留め置いた荷物は開門後にしか取りに行けない。

## 第81回大阪高等学校総合体育大会陸上競技の部（中央大会）について

1. 地区予選会（今大会）にエントリーしない者は中央大会に出場できない。
2. 全国インターハイに出場する選手でシード権を行使する種目については、すべて中央大会に出場できる。また今大会に出場できないため、参加料を顧問に返金する。コールは受けなくてよい。
3. 今大会の中央大会への出場者は以下のとおりとする。  
**※本年度はすべての種目でシード選手・チームを含む合計数とする。**
  - ・2年男子100mは今大会の各組1着の16名及び記録上位者、シード選手の合計24名
  - ・2年女子100mは今大会の各組1着の9名及び記録上位者、シード選手の合計20名
  - ・1年男子100mは今大会の各組1着の17名及び記録上位者、シード選手の合計24名
  - ・1年女子100mは今大会の各組1着の8名及び記録上位者、シード選手の合計20名
  - ・2年男子200mは今大会の各組1着の14名及び記録上位者、シード選手の合計24名
  - ・2年女子200mは今大会の各組1着の6名及び記録上位者、シード選手の合計20名
  - ・1年男子200mは今大会の各組1着の14名及び記録上位者、シード選手の合計24名
  - ・1年女子200mは今大会の各組1着の8名及び記録上位者、シード選手の合計20名
  - ・2年男子110mJHは今大会の各組1着の3名及び記録上位者、シード選手の合計16名
  - ・1年男子110mJHは今大会の各組1着の4名及び記録上位者、シード選手の合計16名
  - ・女子100mYHは今大会の各組1着の3名及び記録上位者、シード選手の合計16名
  - ・競歩種目は1・2地区、3・4地区全体で予選会の記録上位16名。その他のトラック種目は記録上位者とシード選手の合計16名
  - ・跳躍種目は今大会の記録上位者とシード選手の合計12名 ※棒高跳は4名
  - ・投擲種目は今大会の記録上位者とシード選手の合計8名
  - ・4×100mは今大会の記録上位チームとシードチームの合計32チーム
  - ・4×400mは今大会の記録上位チームとシードチームの合計16チーム
  - ・トラック競技で、16位、20位、24位（リレー種目は16位・32位）の記録が同じときは、1/1000秒の単位で判定する。それでも判定できない時は抽選とする。
  - ・跳躍種目で12位、投擲種目で8位のもの複数名いるときは、抽選とする。
  - ・出場の可否は、決勝記録の発表(放送・掲示・大阪高体連陸上競技専門部web)で確認すること。今大会中に改めての連絡はしない。
  - ・今大会の申込人数が各種目選出人数以下の場合、エントリーした者(チーム)は、全員が中央大会に出場できる。競技において欠場・コールもれ・失格などがあっても出場できる。
  - ・3・4地区の地区予選会のエントリー数が中央大会の出場規定数に不足する種目がある場合は、1・2地区予選会からその不足分を補充する。
  - ・今大会の申込人数が各種目選出人数を超えた場合で、当日の欠場により中央大会の出場規定数を下回った場合でも、記録がない場合は順位がつかないため、中央大会に進出することができない。
4. **中央大会の出場辞退について**
  - ・決勝記録の発表後、本大会中に地区主任に辞退届を提出すること。辞退届の提出なき場合は出場する意志があるものとする。今大会終了後の辞退は受け付けない。
  - ・辞退届が提出された場合は、各種目記録上位の者から補充する。(同記録の場合は抽選とする)
5. **リレーメンバーの変更について**
  - ・中央大会に出場するリレーのエントリーメンバーを、今大会のエントリーから変更する場合は、今大会終了までにリレーメンバー変更届を地区主任へ提出すること。(変更のある場合のみ提出すること。変更のない場合は提出の必要はない。)
6. 中央大会の出場者の通知は、連絡事項とともに、8月上旬を目途に顧問あてにメール送信する。これを元に、参加者一覧表を作成のうえ、原則8月17日(月)に提出すること。なお、その後の追加連絡は、随時、大阪高体連陸上競技専門部 webpage に掲出予定のため、こまめにご確認ください。
7. 中央大会への申込は、地区委員が行うので学校別に申し込む必要はない。個人種目500円、リレー種

目1,000円、プログラム代金一人500円(出場者責任購入のこと)を期日までに振り込むこと。  
◎本大会で使用した個人情報につきましては、本大会の目的以外に使用することはありません。